

認定農業者だより

Next Step

日田版 令和6年 3月
 大分県西部振興局 生産流通部
 T e l : 0973-23-2217
 F a x : 0973-23-3473
 E - m a i l : a11610@pref.oita.lg.jp
 記事へのご意見等をお寄せください

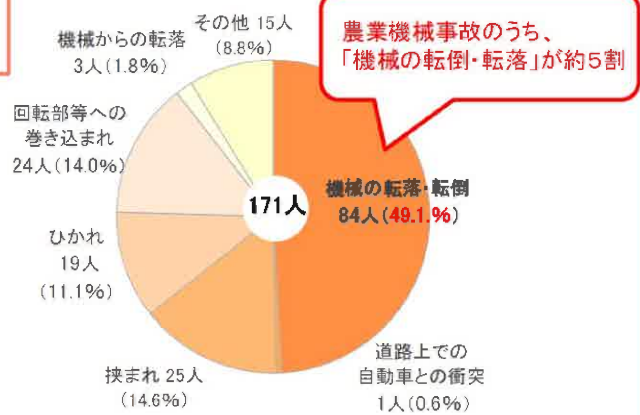
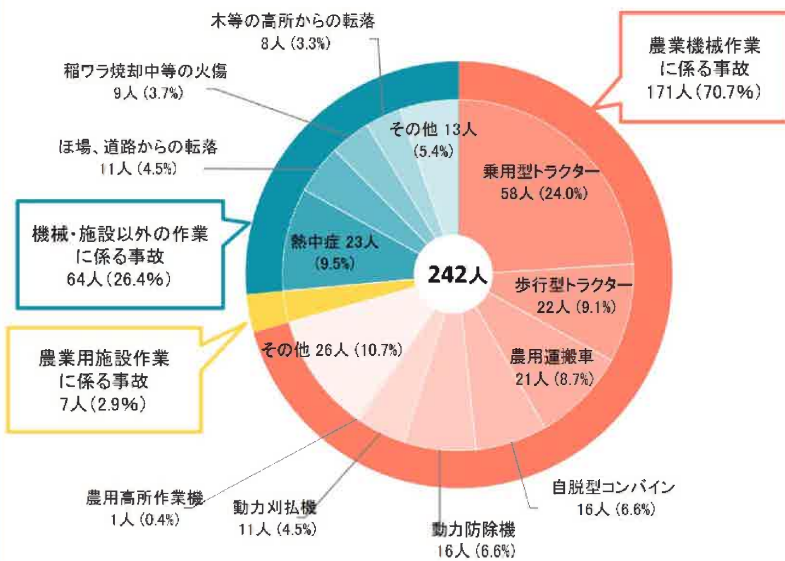
春の農作業安全確認運動について

春作業が行われる3～5月は、農作業安全確認運動の重点期間に設定されています。農業機械作業に係る死亡者数は依然として高い水準にあり、事故防止のため日頃からの安全確認強化が重要となります。

〈令和3年に発生した農作業死亡事故の調査結果〉

要因別の死亡事故発生状況

農業機械事故による死亡の要因



出典：農作業死亡事故調査（農水省）より

○事故防止のため農業機械の転落・転倒対策の徹底しましょう

乗用トラクターなどの農業機械の転落・転倒による死亡事故が多く発生していることから、事故防止と被害軽減の両面からの対策を徹底しましょう。

【被害軽減対策】

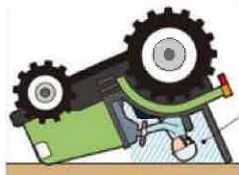
- ・シートベルトとヘルメットを着用
- ・安全フレーム付きトラクターの利用

シートベルトなし



体がどこに飛んでいくかわからない
下敷きになる恐れも

シートベルトあり



安全域にとどまることができる

シートベルトの着用により
転落・転倒時の死亡率は 1/8 に！

出典：農作業安全対策（農水省）より

【事故防止対策】

- ・ほ場周辺の危険箇所の確認・危険回避行動の実践（危険箇所での減速、迂回ルートの設定など）
- ・危険箇所の改善（道路端や曲がり角の草刈り、路肩の補強など）



出典：農作業安全のススメ（ヤンマー）より

（営農推進班 後藤）

(果樹) 春期作業を適期に実施しましょう

1) 低温遭遇時間について



落葉果樹の低温要求量
 ・ぶどう:500~600℃
 ・すもも:500~1500℃
 (梨)
 ・豊水・あきづき:800~1000℃
 ・幸水:1000~1200℃
 ・新高:1200~1400℃



- 果樹の開花や発芽は、冬季に一定量の低温に遭遇し自発休眠が打破（低温要求量）された後、春先の気温が高い条件で早まります。（低温要求量は、常緑果樹では明確な基準はありませんが、落葉果樹では7.2℃以下の積算時間で表されます。）
- 今年産に向けては、暖冬傾向ではありましたが、朝晩については冷え込みがあり、**一定量の低温遭遇時間**が確保される見込みです。
- なお、直近（2/29）の気象庁による九州北部地方の1ヶ月予報では、期間（~4/1）は気温が平年並~高くなる確率が高いことから、**果樹の「発芽・開花」が早まることも想定されます**ので、下記に留意して作業を行ってください。

2) 防除

防除適期を逃すと「**薬害が懸念される**」「**防除効果が劣る**」ことから、生育状況をよく観察して、丁寧に散布漏れのないように防除を実施してください。

特に「マシン油乳剤」「石灰硫黄合剤」は**薬害に注意**するとともに、**近隣への飛散（ドリフト）にも注意**してください。

表2 主要果樹における発芽前後の防除

樹種	防除時期	対象病害虫
ゆず	発芽前	ミカンハダニ
	発芽期(※)	そうか病
ぶどう	発芽前	黒とう病・晩腐病・ハダニ類
梨	発芽前	カイガラムシ類・黒星病
	りん片脱落期	黒星病

※春芽が5~10mm程度伸びた頃が適期

適期防除！

3) かん水・晩霜対策

順調な発芽には「**温度**」に加え、十分な「**水**」が必要です。特に幼木では、根域が「浅く、狭く、少ない」ことから、根が乾燥しないように**定期的に灌水**を実施してください。施用した肥料は水に溶けて根から吸収されるため、施肥後に降雨が少ない場合はかん水を行ってください。

また、梨・すもも等では晩霜への備えを万全にしてください。

(園芸第一班 大久保)

未利用地等を活用して放牧をしてみませんか？

肉用牛経営は近代的な施設による大規模化が進んでいますが、飼料価格等の高騰、子牛市場価格の下落等の要因により、一層の低コスト生産が求められています。低コスト化への取り組みの一つとして、放牧を取り入れるなど粗放的な管理による投資額を抑えた経営を行うことが可能です。

未利用地等を活用した放牧では、はじめに野草を使い放牧しますが、やがて野草は食べ尽くされるので、牧草（オーチャードグラスなど）を播種し、永続的な放牧が可能な草地に作り替える必要があります。1 ha あれば 3 頭の牛をおよそ 150 日から 180 日間放牧できます。牛は群れで行動する動物なので、できる限り 2 頭以上で放牧しましょう。

【放牧を行うメリット】

1 飼養コストの低減

放牧では、牛が放牧地の草を直接食べることから飼料生産や給与が省力化できるとともに、飼養コストの低減を図ることができます。

2 家畜管理の省力化

日々の餌やり、飼料調製に要する労働時間が短縮されます。また、放牧時のふん尿は草地に還元されるため、ふん尿処理の省力化が図られます。

3 濃厚飼料及び貯蔵飼料調製量の低減

短草利用する放牧草の栄養価は高いので、濃厚飼料も節減することができます。また、放牧期の粗飼料給与量を大幅に減らすことができます。

4 衛生費の節減及び分娩間隔の短縮

趾蹄や足腰が強くなりストレスも少ないので、牛が健康となり分娩前後の事故や障害も少なくなります。また、発情兆候が顕著となり発情を見逃すことが少なくなります。



【放牧を始める際に必要な資材】

1 牧柵（電気牧柵、有刺鉄線等）

一般的に使われている牧柵には、大きく分けて有刺鉄線と電気牧柵の 2 種類があります。電気牧柵を利用する場合は、漏電を防止するために周囲の草を除去しましょう。また、脱柵などの事故を防止するために電気牧柵への馴致を行なう必要があります。

2 水飲み場

黒毛和種の雌牛の場合、1 日に 20～50 リットルもの水を飲みます。簡易な水飲み場を設置し、常に新鮮な水が飲めるようにしましょう。

3 避難施設、捕獲施設（状況に応じてあると良い）

日陰が全くない場合などは、簡易的な庇蔭場所を設置しましょう。連動スタンションなどがあると、人工授精や治療等を行なう場合に便利です。

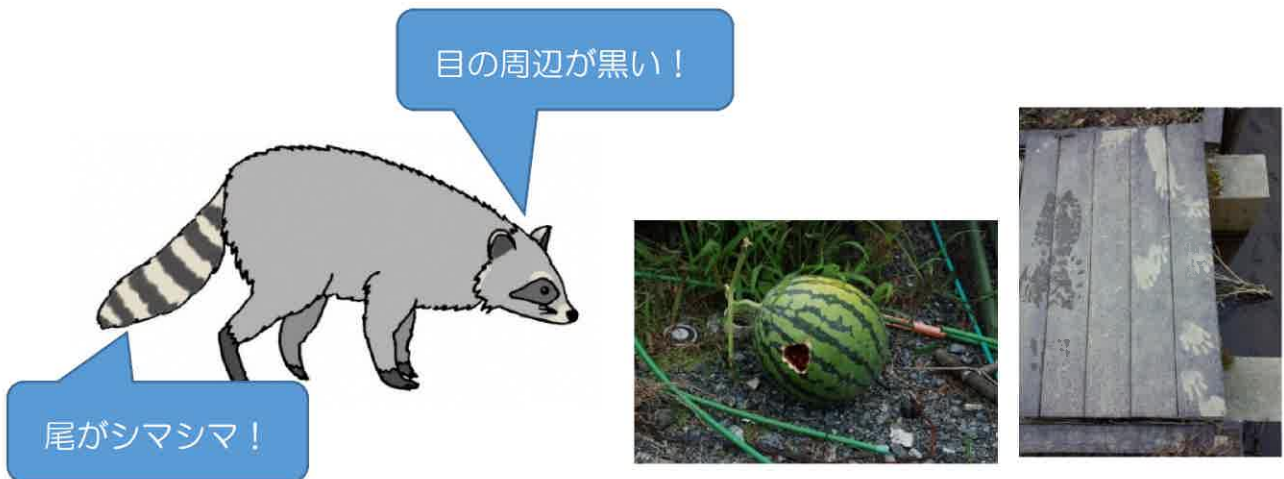
放牧に興味のある方、これから放牧を検討される方はお気軽に振興局までご連絡下さい。

（畜産班 渡邊）

アライグマ等の被害防止対策について

近年、日田・玖珠地区では外来生物であるアライグマの生息数が激増しており、農作物被害が急増しています。アライグマは雑食で、農産物等を好んで食べます。

この状況に対し、農林業者の方（家庭菜園は除きます）がアライグマ等被害防止のために、電気柵等を設置する場合（既設の防護柵をアライグマ等対策用に改良することも可能）、下記のとおりにより、設置費用（資材費のみ）を補助する制度を創設していますので、在住市町の鳥獣被害対策担当課または大分県西部振興局森林管理班にご相談ください。補助率は事業費の3分の2で、事業費が下記標準経費を超える場合は、標準経費が上限となります。



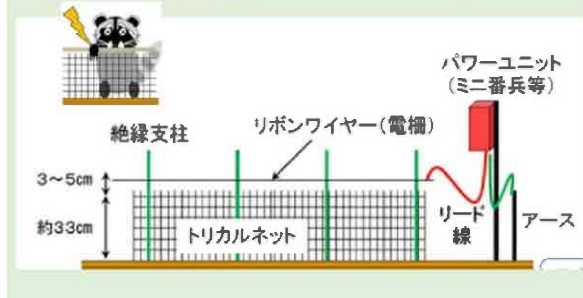
① 新設

複合柵（資材費のみ）

延長要件：100m以上

標準経費：550 円/m

①アライグマ等の防護柵



② 既設の防護柵（ワイヤーメッシュ等）の機能強化

(1) 電気柵（資材費のみ）

延長要件：100m以上

標準経費：313 円/m

(2) ネット柵（資材費のみ）

延長要件：100m以上

標準経費：127 円/m

②通常の防護柵を改良



WM(ワイヤーメッシュ:溶接金網)

アライグマ等対策(イメージ)



電気柵(柵上部)+ネット(柵の内側)

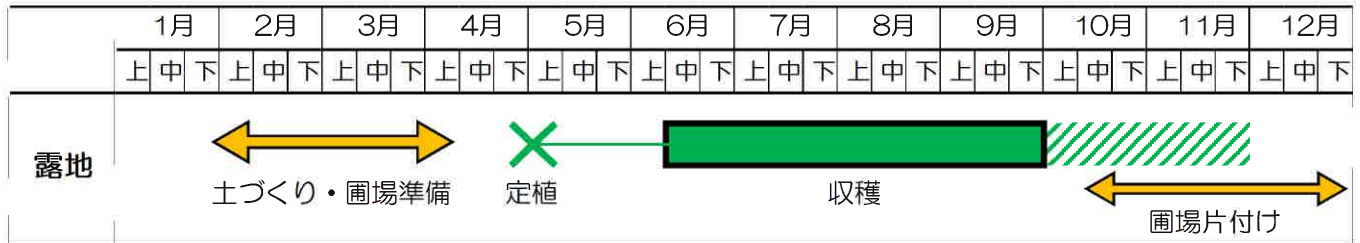


(森林管理班 丸山)

複合品目として ピーマン栽培はじめませんか？



1. ピーマン栽培暦（9月収穫終了パターン） ※11月まで収穫可能



※総労働時間 790時間

おすすめポイント

- ①選果機が新しくなり、コンテナのまま出荷が可能です。
（持込先：玖珠選果場、天瀬集荷場、山田原集荷場）
- ②栽培管理が簡単で初期投資も少ない、夏秋野菜の中でも取り組みやすい作物です。

2. 10a当たりの収益性

区分		金額等	備考
収益	生産量 (kg)	4,600	6月～9月収穫
	単価 (円/kg)	330	
	販売金額	1,518,000	
経費	種苗費	259,000	露地推奨品種「みおぎグリーン（接木）」
	肥料費	112,610	
	農薬費	70,958	
	販売経費	413,732	出荷資材費、販売手数料等
	その他	85,600	諸材料費等
	経費合計	941,900	
農業所得(円)		576,100	

※時給換算 約730円

露地栽培に必要な資材

誘引ネット用支柱、仮支柱、誘引ネット、黒マルチ、かん水チューブ、堆肥、肥料、農薬、農薬散布機、収穫用コンテナ、ヘタ切りハサミ ... 等

3. 主要な作業

定植 [4月下旬～5月上旬]

- ・定植作業は2人で約8時間かかります(10a)
- ・10aあたり、定植苗が約1000本必要です。
- ・苗は購入可能です。



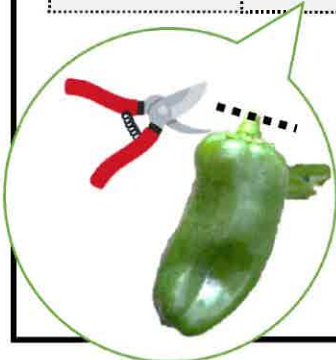
収穫 [6月～9月]

- ・ピーマンで最も労働時間の多い作業です。
- ・作業頻度目安
収穫：5回/週
出荷：5回/週
防除：1回/10日



ピーク時の1日の作業例 (労働力2人 10a)

午前中		16:00～17:00	
収穫 4時間	へた切り 2時間	出荷	



出荷時間

玫珠選果場：8:00～10:30 (時間外持込み可)
日田集荷場：～9:30、16:00～17:00
※変更の可能性あり

4. 栽培圃場について

畑、水田両方で栽培可能ですが、雨水だけではかん水量が足りないため、水が引けることが重要です。

お問い合わせ先

- ・JAおおいた西部営農経済センター：0973-23-6337 (営農支援課)
0973-72-4690 (玫珠中央選果場)
- ・大分県 西部振興局 生産流通部：0973-23-2217